

平成 30 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 NPO法人あいけあ

1 事業の成果

2 事業年度目となり、主たる事業である障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業及び児童福祉法に基づく障害児通所支援事業の運営が本格的に始まった。どちらの事業もほぼ予定していた規模で実施することができた。

家庭・病院への訪問事業は、任意団体時代に実施していたものを、今年度よりそのまま引き継いだ。

研修事業とネットワーク促進事業については、平成 30 年 4 月からの障害福祉サービス事業所の開所を優先したため、実施に至らなかった。次年度以降の実施に向けて、具体的な展開を考えていきたい。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

ア 生活介護事業

- ・内 容 医療ケアの必要な障害の重い人たち（成人）が、地域で安心・安全に、豊かで幸せな生活ができるための心地よい生活の場を提供することができた。
- ・日 時 4 月～ 3 月
- ・場 所 川崎市中原区井田杉山町 3 - 1
- ・従事者人員 18 人
- ・対 象 者 医療ケアの必要な障害の重い人たち（成人） のべ 914 人
- ・費 用 額 16,679,002 円

② 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

ア 放課後等デイサービス事業

- ・内 容 医療ケアの必要な障害の重い人たち（児童）が、地域で安心・安全に、豊かで幸せな生活ができるための心地よい生活の場を提供することができた。
- ・日 時 4 月～ 3 月
- ・場 所 川崎市中原区井田杉山町 3 - 1
- ・従事者人員 18 人
- ・対 象 者 医療ケアの必要な障害の重い人たち（児童） のべ 578 人
- ・費 用 額 16,679,001 円

③ 家庭や病院等への訪問事業

- ・内 容 主に在宅生活をしている医療ケアの必要な障害の重い人たちの自宅に訪問し、人との関わりや活動を通して、豊かな生活が送れるように生涯療育活動を提供することができた。
- ・日 時 4月～3月
- ・場 所 利用者自宅
- ・従事者人員 18人
- ・対 象 者 在宅生活をしている医療ケアの必要な障害の重い人 2人
- ・費 用 額 111,716円

④ 医療ケア等の実施に関する研修事業

- ・内 容 医療ケア等の実施に関する必要な知識や技能を身に付けるための研修会を今後実施するための準備期間とした。喀痰吸引等事業者（特定行為事業者）の神奈川県への登録を完了した。また法人事業所にて内部研修を実施するとともに、他の事業所への連携協力体制を築いた。
- ・日 時 4月～3月
- ・場 所 川崎市中原区井田杉山町3-1
- ・従事者人員 2人
- ・費 用 額 0円

⑤ 地域関係機関等のネットワーク促進事業

ア 学習会の開催

- ・内 容 医療ケアの必要な障害の重い人たちが、安心・安全に地域であたりまえに暮らすことができる川崎市を目指して、関係者や当事者への情報提供及び意見交換を行う予定であったが、できなかった。神奈川県内の他の重症児デイサービス事業所等の関係者とのつながりを持つことを意識的に行い、今後、学習会等の開催に向けて協力体制を構築した。
- ・日 時 4月～3月
- ・場 所 川崎市中原区井田杉山町3-1
- ・従事者人員 2人
- ・費 用 額 0円